

第1回袋井市総合計画審議会（議事要旨）

（日時） 令和元年6月28日（金）
午後6時30分～午後8時45分

（会場） 袋井市役所5階 庁議室

（内容）

- ①委員委嘱
- ②総合計画審議会の役割等
- ③会長及び副会長の選出
- ④第2次総合計画後期基本計画策定方針及びスケジュール
- ⑤袋井市の将来について



（意見等）

○これからの防災・減災のあり方は、市民力をいかに上げていくか。「市民力なら袋井市」というところを活かしていくことが非常に大事な視点

○少子化のことを考えると、結婚をする、子どもを産みたいと思う心を育てていくというのが非常に大切。そのためには、教育と連携し幼小中高一貫で命の大切さやライフワークプランを学ぶことがとても大事

○多様性を強みにするまちという観点から、雇用、商業、産業全般の在り方を考えていくべき

○社会潮流が変化していく中、この5年の計画の中では、ICTやAIなどを積極的に活用し、人間的なコストを下げるなど、次代を先取りした取組が必要ではないか

○医療の分野では、中東遠地区の医師数が不足しており、在宅医療が進んでいない。今後、ICTなどの利用により効率的に在宅医療を行い、これから到来する多死時代を乗り切る必要がある

○健康づくりには、退職した後の男性の方をターゲットした仕掛けづくりをもっとしていく必要がある

○市民同士が触れ合う場、つながりを感じる場はこれからますます重要。本年に完成する総合体育館は、市民同士がつながる場となり得るのではないか

○産業都市でもあり、農業ではメロンが世界的にも評価されていることや、高齢になっても働ける環境があるなど、袋井市の強みを確認することも非常に大事ではないか

○産業全般で人手不足は深刻。その解消には子育てしやすいなど、自分だけでなく住みやすい地域や社会につながる施策が不可欠ではないか